

# 主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部	
	17043	予防接種費用助成事業	課名	健康政策課 健康づくりG	
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:健康づくり・地域医療の充実		款	04:衛生費
	施策の方向	02:疾病予防と早期発見・治療の推進		項	01:保健衛生費
戦略プロジェクト	01:「健都さぷり」プロジェクト	目		01:保健衛生総務費	
事業予定期間	H 24 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	予防接種費用助成金交付要綱(インフルエンザ、水痘・おたふくかぜ、肺炎球菌等)		

② 目的・概要	対象	市民(予防接種対象者)
	目的	予防接種の接種勧奨を行い、予防接種の普及を推進することで、感染症の地域での流行や重症化を予防し、市民の健康保持・増進を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。
概要	次のワクチンについて、予防接種費用の一部を助成する。 ≪対象ワクチン≫インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、MR(定期接種もれ)、ロタ(令和2年度まで)、DPT	

③ 事業の計画・実績		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度計画	○予防接種費用の一部助成 ・インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、MR、ロタ  ○市民への周知啓発 ・広報、HP、CATV、赤ちゃん訪問、幼児健康診査問診時 等での啓発	○予防接種費用の一部助成 ・インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、MR、ロタ、DPT  ○市民への周知啓発 ・広報、HP、CATV、赤ちゃん訪問、幼児健康診査問診時 等での啓発	○予防接種費用の一部助成 ・インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、MR、DPT  ○市民への周知啓発 ・広報、HP、CATV、赤ちゃん訪問、幼児健康診査問診時 等での啓発
年度実績	○予防接種費用の一部助成 インフルエンザ1,891人、おたふくかぜ421人、成人用肺炎球菌190人、MR(定期接種もれ)2人、ロタ延909人、水痘14人  ○市民への周知啓発 ・広報4回、HP2回、赤ちゃん訪問、幼児健康診査問診、母子手帳交付時、育児相談での啓発	○予防接種費用の一部助成 インフルエンザ3,197人、おたふくかぜ295人、成人用肺炎球菌182人、MR(定期接種もれ)8人、ロタ延501人、水痘5人、DPT318人  ○市民への周知啓発 広報4回、HP2回、CATV、赤ちゃん訪問、幼児健康診査問診、母子手帳交付時、育児相談での啓発	○予防接種費用の一部助成 インフルエンザ1,552人、おたふくかぜ376人、成人用肺炎球菌92人、MR(定期接種もれ)4人、水痘5人、DPT289人 ○市民への周知啓発 広報4回、HP2回、CATV、赤ちゃん訪問、幼児健康診査問診、母子健康手帳交付時の説明、育児相談での啓発		
事業額	計画額	事業費	7,300千円	31,200千円	7,100千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
事業額	予算額	事業費	7,300千円	31,042千円	7,300千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
事業額	決算額	事業費 ①	6,627千円	19,220千円	5,062千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	人件費	総人件費 ②	1,570千円	1,568千円	2,145千円
		一般職員	1,570千円	1,568千円	1,581千円
		所要人員	0.20	0.20	0.20
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	564千円
		総コスト(①+②)	8,197千円	20,788千円	7,207千円
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 周知啓発の実施回数	計画値 4	4	4
		広報・ホームページ・CATV等での掲載回数	実績値 6	6	6
		活動	単位 回	回	回
	②	名称 予防接種費用助成人数	計画値 1,400	2,500	1,400
		インフルエンザ予防接種費用助成者数	実績値 1,891	3,197	1,552
		活動	単位 人	人	人
	③	名称 麻しん患者発生数	計画値 0	0	0
		市内での麻しん患者発生人数	実績値 0	0	0
		成果	単位 人	人	人

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 MR予防接種については、まず定期予防接種の対象時期に勧奨を行うが、それでも定期予防接種の時期に受けられなかった人については感染流行を防止するため、費用助成を周知し接種を進める。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 MR予防接種未接種者に対して、予防接種費用の助成について、広報やホームページ、健康づくりのてびきなどで周知した。さらに保育園・幼稚園と連携し、定期予防接種期間に接種を完了できるように、個別に接種勧奨を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 新型コロナウイルス感染症は継続して感染拡大の状況であったが、任意予防接種費用の一部助成について計画どおり実施した。また、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えて接種を進めるため、インフルエンザ予防接種についてはR2年度は時限的な措置として全額公費負担としたが、R3年度はR元年度までと同様の助成額にして実施した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 インフルエンザについては、昨年度に比較して接種人数は半減したのは全額助成から従来の助成額に戻した影響があると推測されるが、患者（定点届出による把握）は、全国的にもほぼいない状況であった。また、R2年度から開始しているDPTの接種率もR2年度は65.8%、R3年度は62.7%と接種率が大きく下がることなく維持できており、市内小児科医によると市内での百日咳の発生はなかった。その他のワクチンについても、ワクチン接種をすることが地域での疾患の流行予防につながられ市民の健康保持・増進を図ることができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 感染症の予防には、手洗い・手指消毒、換気、密になることを避けるなどの基本的な感染防止対策と併せて、予防接種で集団免疫を維持する必要性を周知する必要がある。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 予防接種の効果について、広報やホームページで市民周知する。これらの一般的な周知に加え、定期予防接種のワクチンについては、まずは定期予防接種対象期間に確実に接種できるように幼児健診の問診時に説明したり、園や学校と連携し積極的に接種勧奨を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 地域での感染症の流行や重症化の予防が期待できる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	健康福祉部 健康政策課 健康づくりグループリーダー 駒谷 みどり
【最終評価者】	健康福祉部 健康政策課長 林 秀臣

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	A
	成果	B	A	A	A	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		7,300 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	7,300 千円
	令和4年度への繰越額	千円